

窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社カナメ

所在地	栃木県宇都宮市平出工業団地 38-52		
ホームページ URL	http://www.caname.net		
設立年	昭和46年	業種	建設業
従業員数	146人	資本金	8,800万円

企業概要

当社は、一般住宅外装・内装リフォーム、大型建築物の屋根施工、社寺建築、金属屋根の開発・製造・販売・施工、太陽光発電システムの開発・製造・販売・施工及びシステムの流通販売、太陽光発電事業を業とされています。

当社の技術は、各方面で高い評価をいただいており、浅草寺様（東京都台東区）にご採用いただきました

「チタン カナメ段付本瓦葺き」では、「第2回 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞いたしました。

自社の強み

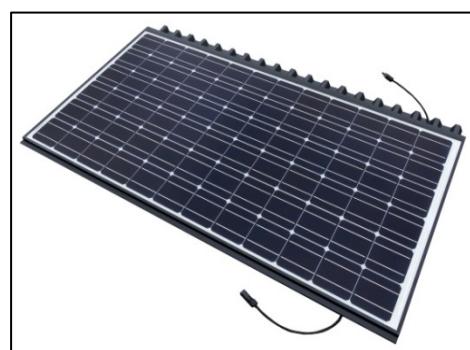
毎月社長に全社員が日頃の提案・改善から生まれる「有意注意」*を提出する制度があります。この制度が、社員の想像力、提案力につながり、会社の社訓である「創意挑戦」に結びついています。

たとえば、社員の「有意注意」によって開発された産業用太陽光パネル取付金具「フラットグリップ」は、累計出荷200万個を突破する大ヒットを記録しています。

* 有意注意：意識して目の前の事象に注意を払い続けること。

一押し商品

○屋根一体型太陽電池「カナメソーラールーフ」(2015年グッドデザイン賞 受賞)



屋根のプロである株式会社カナメだから実現できた高機能・デザインを備えた商品です。

- 新たに屋根機能をプラスした架台に既存モジュールを一体化させた画期的な構造。
- 屋根全面に取り付けができ、一般住宅でも、10kW以上の大容量設置を実現。

本商品も、特許、意匠登録、商標登録によって、大切な知的財産権を保護しています。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、従来、一般住宅外装等・大型建築物の屋根施工・社寺建築・金属屋根の開発・製造・販売・施工等の事業を行っておりました。近年、太陽光発電システムの開発・製造・販売・施工およびシステムの流通販売等の太陽光発電事業にも、積極的に取り組んでおります。この背景の下、国内でのさらなる製造技術力の向上及び生産体制の強化と共に、国内外での知財安全性の確保及び知財障壁の構築を図ることが必要となっていました。

最初の相談概要

同社からの最初の相談は以下の2点でした。

- ①従来事業を含めた全事業活動に係わる「社内知財管理体制の強化及び出願や調査等に関する社内知財活動環境の強化」への支援。
- ②特に、「太陽光パネル取付装置に係わる特許出願に対する拒絶理由への応答方法」及び「太陽光パネル取付装置に係わる新規特許出願に対する特許戦略策定」などへの支援。

その後の相談概要

同社に対してはその後、以下の観点からの支援を行いました。

- ①太陽光発電事業の展開に係わる、効果的な知財ポートフォリオ（特許・意匠・商標）の構築、国内他企業による知財侵害への対応の支援。
- ②太陽光発電事業の展開における、知財ポートフォリオの効果的な活用（共有権利化等）についての支援。

窓口を活用して変わったところ

知財総合支援窓口に相談することで、現在の状況、想定されるリスク、今後取り得る手段が明確になりました。これらが明確になったことによって、他部署の社員に対して、説得力のある説明ができ、当事者意識を持ってもらうことにつながりました。

知財業務を専門に行う社員が少ない中、他部署との連携は不可欠です。知財総合支援窓口を活用したこと、「知財に関心を持ってもらう」という大きな第一歩が踏み出せました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

知財に関するちょっとした心配事であっても、親身にご対応いただいている。そのため、「何かあればすぐに相談」というように、気軽に利用させていただいている。

知財に関する課題が少しでもあれば、一度ご相談されることをおすすめします。それが次の課題を見つけることにつながったり、知財担当者のスキルアップにつながったりします。

窓口担当者から一言 (氏名 : 斎藤秀夫)



太陽光発電事業の拡大展開に向けた、さらなる製造技術力の向上及び生産体制の強化と共に、知財安全性の確保及び知財障壁の構築については達成しつつあります。今後は、さらなる全事業方位における新製品の開発及び事業活動に沿った、広範な知財活動に対する統合的な支援を継続・実施していきます。

窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社カナメ

所在地	栃木県宇都宮市平出工業団地 38-52		
ホームページ URL	http://www.caname.net		
設立年	昭和46年	業種	建設業
従業員数	146人	資本金	8,800万円

企業概要

当社は、一般住宅外装・内装リフォーム、大型建築物の屋根施工、社寺建築、金属屋根の開発・製造・販売・施工、太陽光発電システムの開発・製造・販売・施工及びシステムの流通販売、太陽光発電事業を業とされています。

当社の技術は、各方面で高い評価をいただいており、浅草寺様（東京都台東区）にご採用いただきました

「チタン カナメ段付本瓦葺き」では、「第2回 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞いたしました。

自社の強み

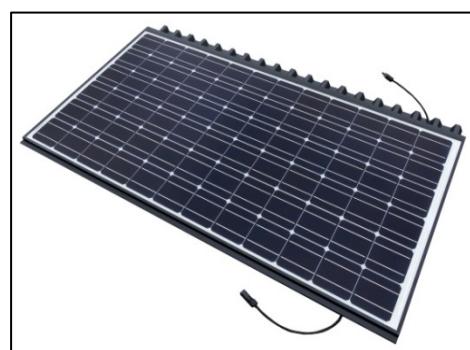
毎月社長に全社員が日頃の提案・改善から生まれる「有意注意」*を提出する制度があります。この制度が、社員の想像力、提案力につながり、会社の社訓である「創意挑戦」に結びついています。

たとえば、社員の「有意注意」によって開発された産業用太陽光パネル取付金具「フラットグリップ」は、累計出荷100万個を突破する大ヒットを記録しています。

* 有意注意：意識して目の前の事象に注意を払い続けること。

一押し商品

○屋根一体型太陽電池「カナメソーラールーフ」(2015年グッドデザイン賞 受賞)



屋根のプロである株式会社カナメだから実現できた高機能・デザインを備えた商品です。

- 新たに屋根機能をプラスした架台に既存モジュールを一体化させた画期的な構造。
- 屋根全面に取り付けができ、一般住宅でも、10kW以上の大容量設置を実現。

本商品も、特許、意匠登録、商標登録によって、大切な知的財産権を保護しています。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、従来、一般住宅外装等・大型建築物の屋根施工・社寺建築・金属屋根の開発・製造・販売・施工等の事業を行っておりました。近年、太陽光発電システムの開発・製造・販売・施工およびシステムの流通販売等の太陽光発電事業にも、積極的に取り組んでおります。この背景の下、国内でのさらなる製造技術力の向上及び生産体制の強化と共に、国内外での知財安全性の確保及び知財障壁の構築を図ることが必要となっていました。

最初の相談概要

同社からの最初の相談は以下の2点でした。

- ①従来事業を含めた全事業活動に係わる「社内知財管理体制の強化及び出願や調査等に関する社内知財活動環境の強化」への支援。
- ②特に、「太陽光パネル取付装置に係わる特許出願に対する拒絶理由への応答方法」及び「太陽光パネル取付装置に係わる新規特許出願に対する特許戦略策定」などへの支援。

その後の相談概要

同社に対してはその後、以下の観点からの支援を行いました。

- ①太陽光発電事業の展開に係わる、効果的な知財ポートフォリオ（特許・意匠・商標）の構築、国内他企業による知財侵害への対応の支援。
- ②太陽光発電事業の展開における、知財ポートフォリオの効果的な活用（共有権利化等）についての支援。

窓口を活用して変わったところ

知財総合支援窓口に相談することで、現在の状況、想定されるリスク、今後取り得る手段が明確になりました。これらが明確になったことによって、他部署の社員に対して、説得力のある説明ができ、当事者意識を持ってもらうことにつながりました。

知財業務を専門に行う社員が少ない中、他部署との連携は不可欠です。知財総合支援窓口を活用したこと、「知財に関心を持ってもらう」という大きな第一歩が踏み出せました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

知財に関するちょっとした心配事であっても、親身にご対応いただいている。そのため、「何かあればすぐに相談」というように、気軽に利用させていただいている。

知財に関する課題が少しでもあれば、一度ご相談されることをおすすめします。それが次の課題を見つけることにつながったり、知財担当者のスキルアップにつながったりします。

窓口担当者から一言 (氏名 : 斎藤秀夫)



太陽光発電事業の拡大展開に向けた、さらなる製造技術力の向上及び生産体制の強化と共に、知財安全性の確保及び知財障壁の構築については達成しつつあります。今後は、さらなる全事業方位における新製品の開発及び事業活動に沿った、広範な知財活動に対する統合的な支援を継続・実施していきます。

窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社カナメ

所在地	栃木県宇都宮市平出工業団地 38-52		
ホームページ URL	http://www.caname.net		
設立年	昭和46年	業種	建設業
従業員数	146人	資本金	8,800万円

企業概要

当社は、一般住宅外装・内装リフォーム、大型建築物の屋根施工、社寺建築、金属屋根の開発・製造・販売・施工、太陽光発電システムの開発・製造・販売・施工及びシステムの流通販売、太陽光発電事業を業としています。

当社の技術は、各方面で高い評価をいただいており、浅草寺様（東京都台東区）にご採用いただきました

「チタン カナメ段付本瓦葺き」では、「第2回 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞いたしました。

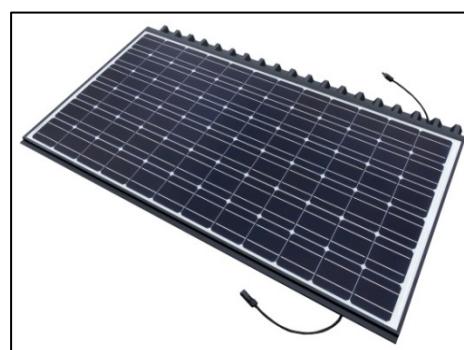
自社の強み

毎月社長に全社員が日頃の提案・改善から生まれる「有意注意」*を提出する制度があります。この制度が、社員の想像力、提案力につながり、会社の社訓である「創意挑戦」に結びついています。

最近では、社員の「有意注意」によって開発された産業用太陽光パネル取付金具「フラットグリップ」が、累計出荷100万個を突破する大ヒットを記録しています。
※ 有意注意：意識して目の前の事象に注意を払い続けること。

一押し商品

○屋根一体型太陽電池「カナメソーラールーフ」



屋根のプロである株式会社カナメだから実現できた高機能・デザインを備えた商品です。

- 新たに屋根機能をプラスした架台に既存モジュールを一体化させた画期的な構造。
- 屋根全面に取り付けができ、一般住宅でも、10kW以上の大容量設置を実現。

本商品も、特許、意匠登録、商標登録によって、大切な知的財産権を保護しています。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、従来、一般住宅外装等・大型建築物の屋根施工・社寺建築・金属屋根の開発・製造・販売・施工等の事業を行っておりました。近年は、太陽光発電システムの開発・製造・販売・施工およびシステムの流通販売等の太陽光発電事業に、積極的に取り組んでおります。この背景の下、国内でのさらなる製造技術力の向上及び生産体制の強化と共に、国内外での知財安全性の確保及び知財障壁の構築を図ることが必要となっていました。

最初の相談概要

同社からの最初の相談は以下の2点でした。

- ①従来事業を含めた全事業活動に係わる「社内知財管理体制の強化及び出願や調査等に関する社内知財活動環境の強化」への支援。
- ②特に、「太陽光パネル取付装置に係わる特許出願に対する拒絶理由への応答方法」及び「太陽光パネル取付装置に係わる新規特許出願に対する特許戦略策定」などへの支援。

その後の相談概要

同社に対してはその後、以下の観点からの支援を行いました。

- ①太陽光発電事業の展開に係わる、効果的な知財ポートフォリオ（特許・意匠・商標）の構築、国内他企業による知財侵害への対応の支援。
- ②太陽光発電事業の展開における、知財ポートフォリオの効果的な活用（共有権利化等）についての支援。

窓口を活用して変わったところ

知財総合支援窓口に相談することで、現在の状況、想定されるリスク、今後取り得る手段が明確になりました。これらが明確になったことによって、他部署の社員に対して、説得力のある説明ができ、当事者意識を持ってもらうことにつながりました。

知財業務を専門に行う社員が少ない中、他部署との連携は不可欠です。知財総合支援窓口を活用したことで、「知財に関心を持ってもらう」という大きな第一歩が踏み出せました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

知財に関するちょっとした心配事であっても、親身にご対応いただいている。そのため、「何かあればすぐに相談」というように、気軽に利用させていただいている。

知財に関する課題が少しでもあれば、一度ご相談されることをお勧めします。それが次の課題を見つけることにつながったり、知財担当者のスキルアップにつながったりします。

窓口担当者から一言 （氏名：斎藤秀夫）



太陽光発電事業の拡大展開に向けた、さらなる製造技術力の向上及び生産体制の強化と共に、知財安全性の確保及び知財障壁の構築については達成しつつあります。今後は、さらなる全事業方位における新製品の開発及び事業活動に沿った、広範な知財活動に対する統合的な支援を継続・実施していきます。